

濟州道からみる韓国海女の歴史と文化

2014年8月18日

・ 安美貞(アン・ミジョン)

・ 韓国海洋大學校 國際海洋問題研究所 HK研究教授

タイトルについて、

- “済州道から” “韓國の海女をみる”？

一般的に国家史を通じた地方史の説明 / 済州道を通じて韓國の海女の説明すること。

- その理由は、

- 済州道を中心に海女研究が展開されてきた研究傾向
- 韓國の海女の歴史的特殊性として `20世紀前半に済州道出身の海女らが現地に定着して海女人口の多数を占めるという点
- 現在 `韓國の海女の60%が `済州道で漁労活動
- 済州道は `海女漁労の文化について特徴をよく把握しかねないという点だ
- 近代国家の一國史に限定されていない地域を通じたさまざまな説明の可能性を求める試みとして

ただし、

‘海女の起源から見れば’ 日本と同じ、韓国も新石器時代から人類の食糧になった海産物、特にアワビなど遺物を通じて人間が潜水をしただろうと知られています。もちろん古代潜水者が今日の海女のような存在とみることも難しいが、海洋文化の中で彼らは同じ漁労技術をおこなっているものとすることができます。

韓国の海女の60%が済州島にあるが、それとして済州島が海女のオリジナリティと見ることはせっかちな考えであり、むしろなぜ、済州島に多いのか、そして済州の海女らが漁労文化はどのようなものが私の発表内容になることです。

1. 概觀

用語/ 人口/ 移動



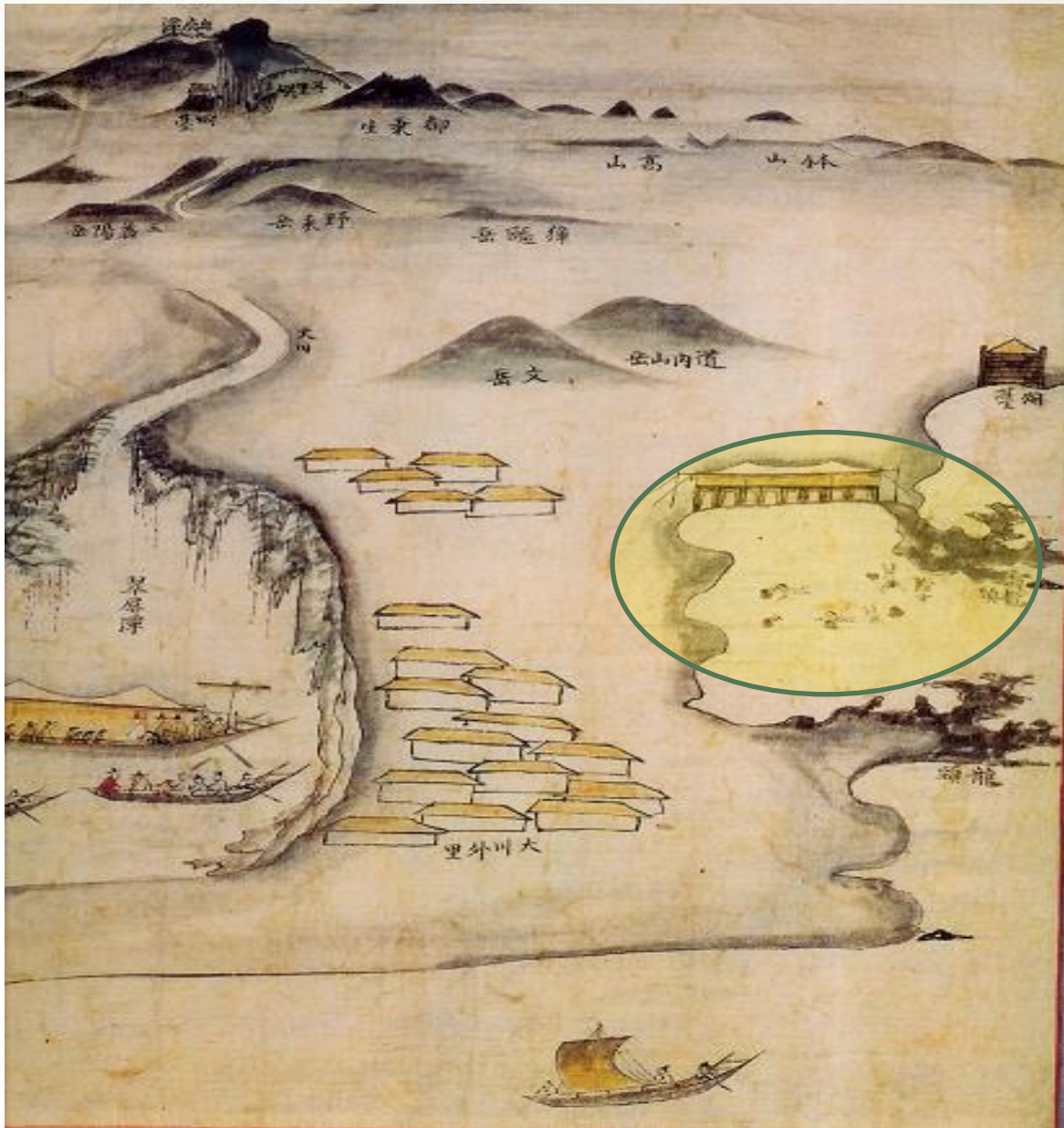
● 用語

- **潜女**(ゾムニョ/ザンニョ) / **潜嫂**(ゾムス/ザンス)
 - : 海女(ヘニョ), 女性 ‘狩獵採集’ 者
 - : 他地への移動と定着 (韓半島, ロシア, 中国, 日本)
 - : 反復的 労働, 海洋生態と生物に対する経験的知識を持った熟練になった 漁撈者
 - **물질** (ムルジル) = 裸潜漁撈 = 潜くり
 - : plain-diving, breath-holding diving,
 - : 海産物 = サザエ, アワビ, ウニ, ミズダコ, ナマコ, ヒジキ, テングサ, いしだい, ふぐ 等
 - :
 - : 採取時期 - 年中(6月~8月/9月 除外)
 - : 主要市場 - 日本へ輸出
- * 裸潜漁撈 世界的 分布 - Philippine, Taiwan, Indonesia, Korea, Japan ….

● 18~19世紀

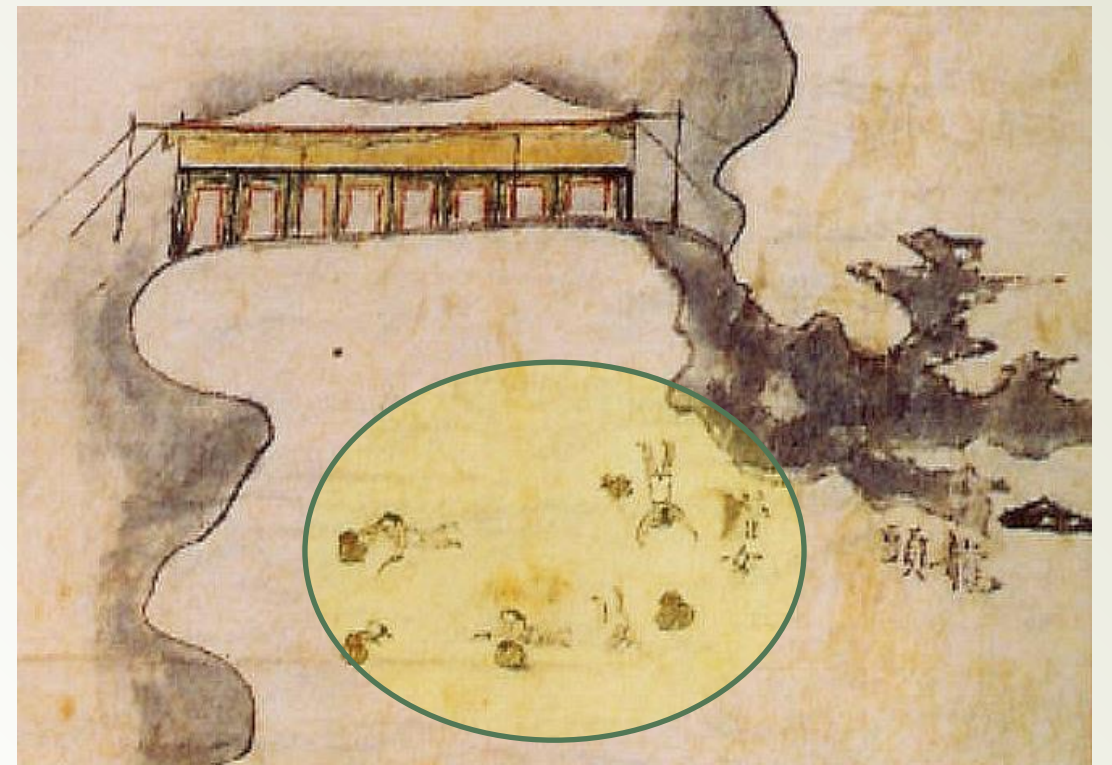
潛女, 浦女, 海女

年度	名稱	地域	文獻
1702(숙종 28년)	潛女	濟州	實錄
1714(숙종 40년)	海女	*초량倭館(釜山)	實錄
1746(영조22년)	潛女	濟州	承政院日記
1747(영조23년)	潛女	濟州	承政院日記
1748(영조24년)	潛女	濟州, *漂海人, 류큐	承政院日記
1776(정조 즉위년)	潛女	濟州	實錄
1777(정조원년)	海女	-	承政院日記
1781(정조5년)	海女	-	承政院日記
1814(순조14년)	潛女	濟州	承政院日記
1814(순조14년)	潛女	*浦女 (이재수 보고)	備邊司謄錄
1867(고종4년6월7일)	潛女	全羅道	承政院日記
1867(고종4년6월13일)	潛女	全羅道?	承政院日記
1885(고종22년)	단(蠶)/홍콩	*蠶戶(巨文島 關聯)	實錄
1894(고종31년)	潛女	-	林下遺稿
1898(고종35년, 光武2)	潛女	濟州	續陰晴史
1898(고종35년, 光武2)	潛女	濟州	續陰晴史
1899(고종36년, 光武3)	潛女	濟州	續陰晴史
1930(일제시기)	潛女	濟州, *題目 潛女歌->海女歌	신광수석북집(潛女歌/1765)



<耽羅巡歷圖> (1702~1703)

“潛女”



● 1990年代 地域別海女人口

行政區域別	1990年	1995年
釜山広域市	762	1,055
仁川広域市	4	28
京畿道	10	-
江原道	421	302
忠清南道	176	162
全羅北道	5	5
全羅南道	621	564
慶尙北道	887	958
慶尙南道	1,873	1,378
濟州道	6,470	5,886
全國	11,229	10,338

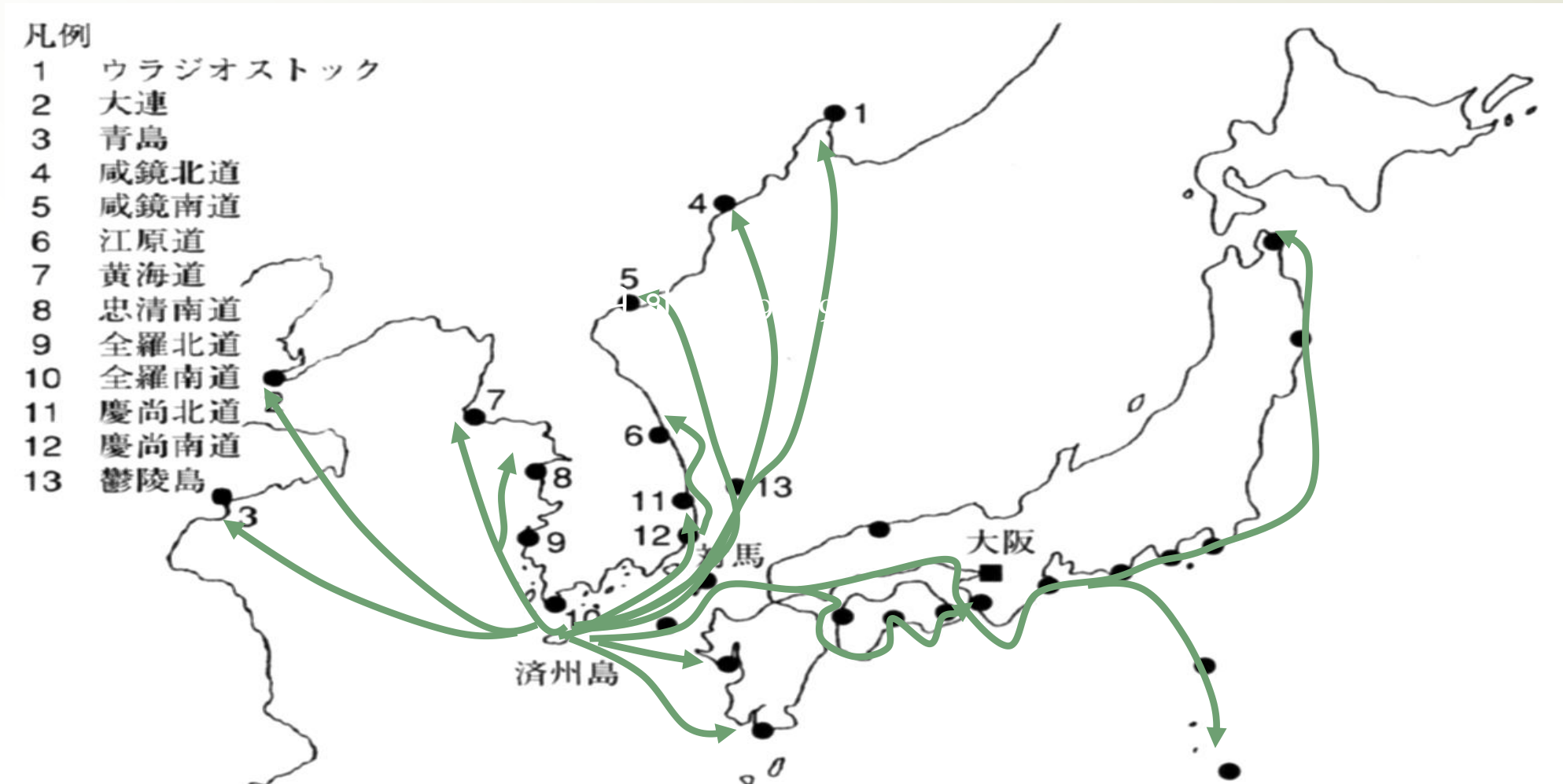
* 資料: 韓国統計庁

● 2010年地域別海女人口

行政區域別	潜水機	素手漁業	裸潜漁業
ソウル特別市	-	-	-
釜山広域市	4	44	479
大邱広域市	-	-	-
仁川広域市	4	1,951	28
光州広域市	-	1	1
大田広域市	-	2	-
蔚山広域市	-	192	486
京畿道	1	525	9
江原道	97	142	198
忠清南道	70	7,219	180
全羅北道	1	1,249	13
全羅南道	107	8,599	203
慶尙北道	39	330	749
慶尙南道	114	1,850	273
濟州特別自治道	1	1,447	3,147
全國	438	23,551	5,766

* 資料: 韓国統計庁

● 濟州道潛女の移動地域(1945年以前)



● 韓半島と日本に移動-1930年代

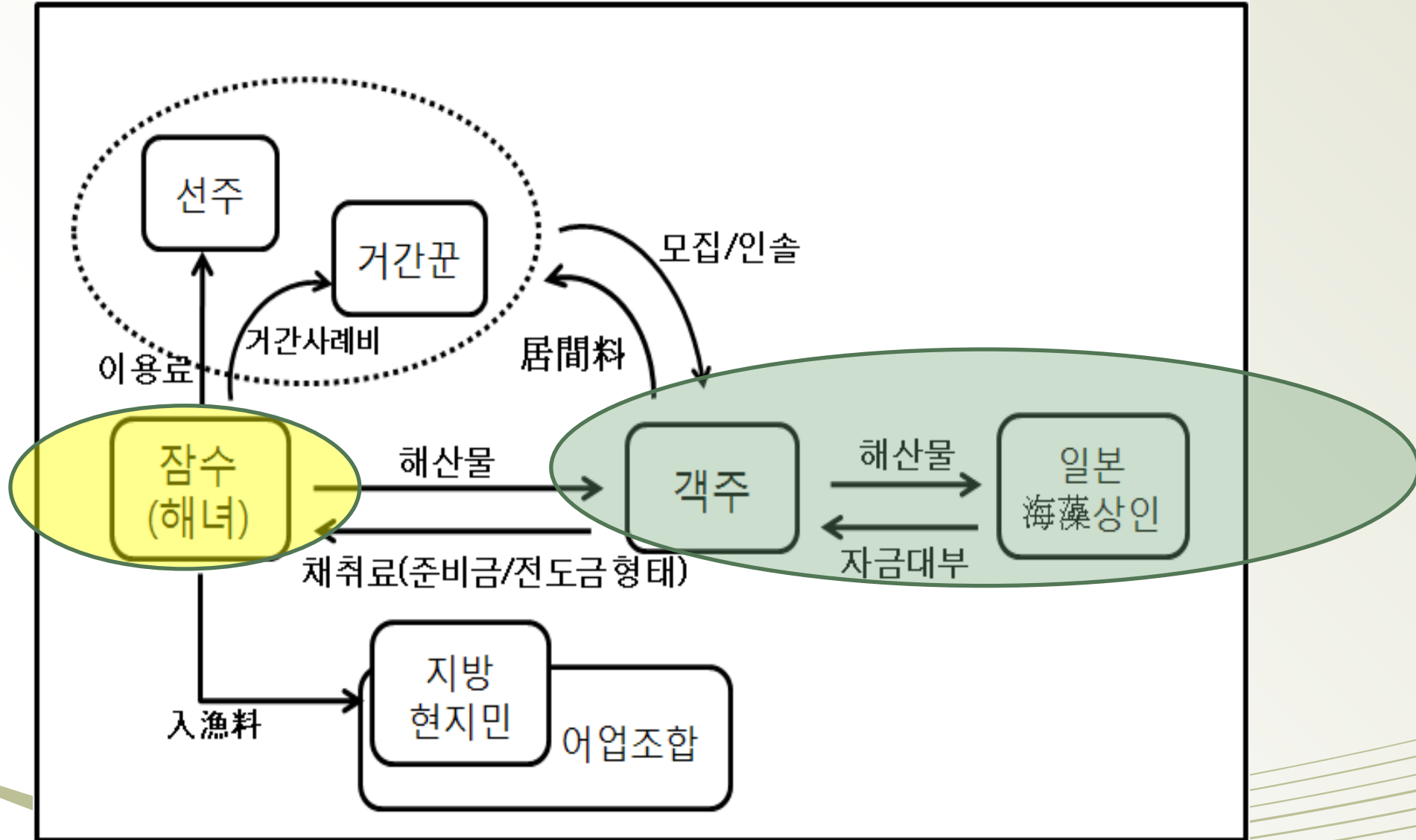
1937	韓半島	全南	全北	慶南	慶北	忠南	江原	咸南	咸北	黃海	合計
		408	19	1,650	473	110	54	32	5	50	2,801
	日本	對馬島	高知	鹿兒島	東京	長崎	靜岡	千葉	愛媛	徳島	合計
		750	130	55	215	65	265	51	10	50	1,591
1939	韓半島	全南	全北	慶南	慶北	忠南	江原	咸南	咸北	黃海	合計
		367	7	1,581	308	141	60	106	-	14	2,584
	日本 他	對馬島	高知	鹿兒島	東京	長崎	靜岡	千葉	愛媛		合計
		686	95	18	144	54	365	67	35	28	1,492

● 海女歌の中に移動と世界観


이여싸나 이여싸나
밋밋한 물줄에 / 해풍만 치고요
허적소리 나는 것은 / 연락선만 소리로구나
쳐라 쳐라베쳐 / 혼목을젓엉 남을준덜
허리지덕 배지덕말라 / 놈의나고대 애기랑배영
허리야지덕 배지덕말라 / 우리어멍 날날적에
가시나무 몽고지에 / 손에괘이 벅이라고
날났던가 이여싸나 / 이여싸나 요벤드레
끈히지면 부산항구 / 아사이노가 없을소냐
요내착이 부러지면 / **대마도**산천 곶은 나무
없을소냐 모를모를 / 신살르멍 젓어보라

* 海での女性たちの広い労働世界, 積極性と肯定性

● 移動することに関連された社会関係



● 移動の要因

- 日本潜水汽船の韓半島進出で漁場荒廃化による移動触発
 - 女性たちの現金所得機会となって、労働力需要が募集を通じて進行
 - 水産や軍需産業の原料採取が必要
 - 海上交通の発達
- 

* 1960~1970年代の移動

구분	계	경남	경북	전남	강원	기타
1962	4,090	1,356	1,584(1,070)	232	787	131
1963	2,215	696	1,320(1,120)	71	125	3
1964	2,071	378	1,354(1,223)	108	165	66
1965	1,538	258	1,049(976)	56	113	62
1966	1,903	338	1,103(1,021)	143	188	131
1967	1,909	788	635(608)	248	129	109
1968	1,093	159	654(619)	84	81	115
1969	1,167	457	216(208)	282	145	67
1970	1,023	239	85	188	-	511
1971	1,230	302	126	284	166	352
1972	917	264	249	158	104	142
1973	867	254	199	238	64	112

● 移動から定着に --- 漁業共同体形成

“물질” 遠征来て定着、
影島 住民の 80% が 濟州出身 - 東亞日報 1970.7.25.

海女

물질 遠征 왔다가 東海岸에 定着

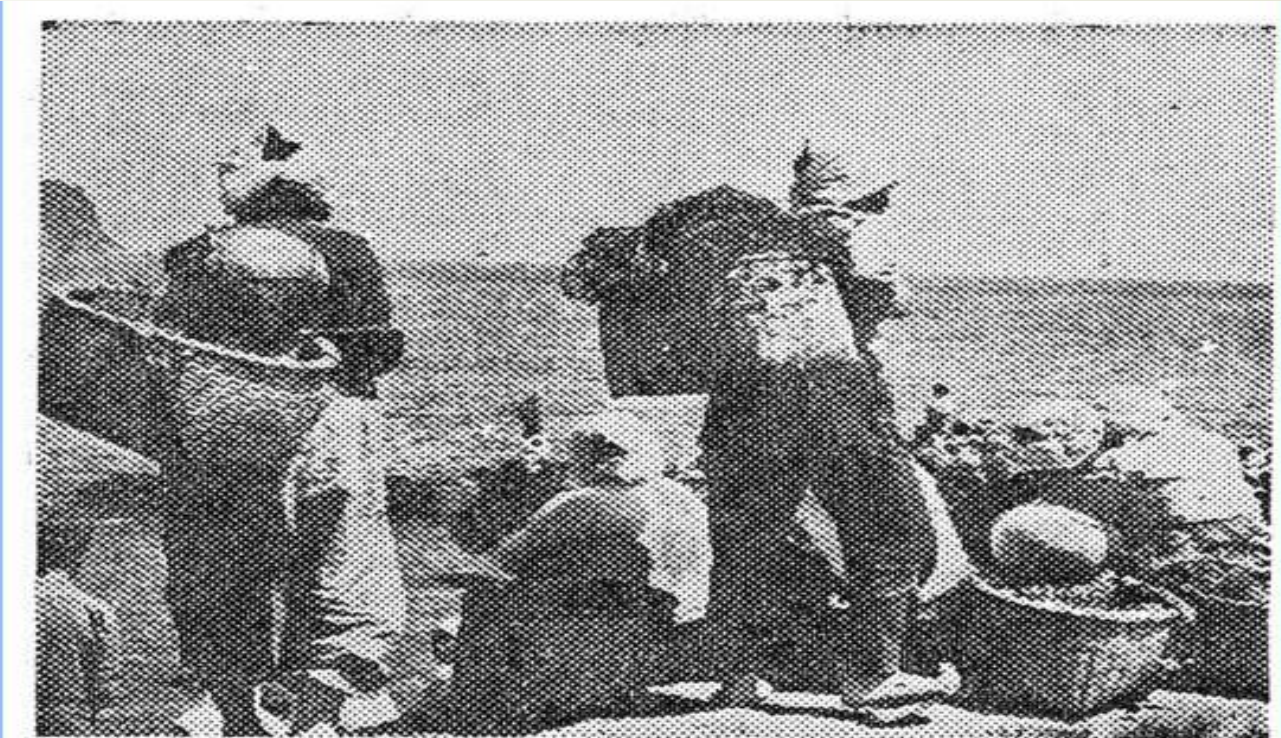
영도(善)는 住民 8할이 濟州系

물질 遠征 왔다가 東海岸에 定着

영도(善)는 住民 8할이 濟州系

물질 遠征 왔다가 東海岸에 定着

영도(善)는 住民 8할이 濟州系



바다있는 곳이면 어디나 候鳥처럼 물러다니는 출가해녀들은 곧잘 東海岸연안에 濟州村을 이룬다.

2. 濟州道潛女(潛嫂)の漁撈文化

人口變動, 女性労働, 信仰儀礼

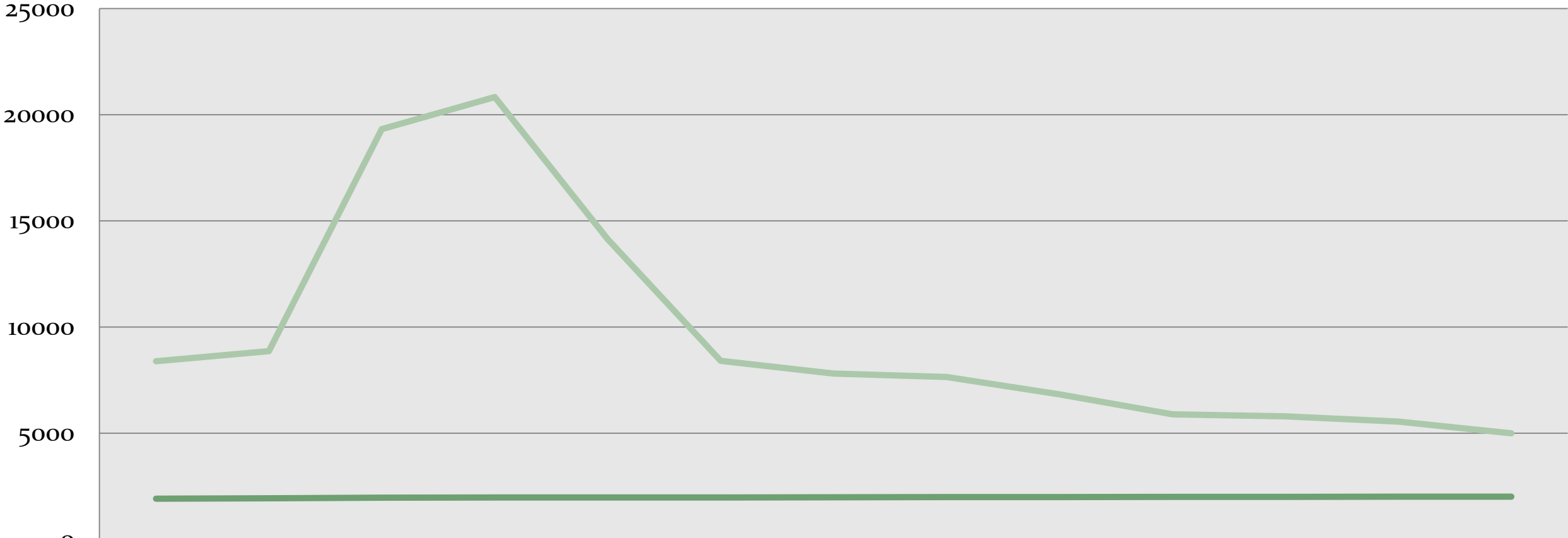


2005年 西歸浦市 海村(법환동) 潛女像

2-1. 人口変動

- 濟州島：火山島, 漢拏山(1950m), 多様な植生, 長い海岸線, 조간대・大陸棚発達,
- 村漁場の形成(2008年-127個, 2014年 100個) - 海岸村女性たちの生活方式の一つ
- 潜嫂の人口変動
 - : 1913年 8,391人 -1975年 8,402人
 - : 1969年には20,832人で約 3倍増加
 - : 1969年から 1975年間に大幅減少
- 社会的減少要因
 - : 換金作物 栽培(菜の花, 蜜柑)
 - : 女性の教育機会拡散
 - : 西欧式 近代 教育, 大衆媒体の影響,
 - : 水産市場と道具の変化

濟州潛嫂人口變化



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
연도	1913	1932	1960	1969	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010
인구	8,391	8,862	19,319	20,832	14,143	8,402	7,804	7,649	6,827	5,886	5,789	5,545	4,995

資料: 濟州道廳水産科

2-2. どうして 女性たちだけがこの仕事をするのか？

※女性に身体的に適した仕事？ 1990年代までは身体的に女性に適合したことだと認識(皮下脂肪)

■ 中世の貢納制, 家父長的儒教主義

: 浦作人(男性) 潜女(女性)の海産物 進上

-> 男性たちの한반도로 出陸現象,

-> 17世紀以後 女性の専擔化された。(朴 2004, 濟州道 2006)

: 身が現われる事の賤視

=女性の自然な事ではない封建時代の 政治的産物

■ 20세기 海産物の商品經濟によって女性の貨幣所得, 他地に移動活潑

■ (既婚女性の労働で固着化/ 村漁場で潜嫂の排他的權利)

- 濟州’傳統’文化を象徴
 - 強忍な濟州女性の典型
 - 勤勉な女性
- 観光産業の素材として潛嫂 - sexuality
- 教育のない人? - “学ぶことができるものは**仕事だけ**”, “전상” (karma)
 - 女性の教育と社会的進出が難しかった時代の影響
- 西歐的教育内容の問題
 - 伝統的だ = ‘古い’, ‘前近代’的な 仕事
 - 潛嫂(の身, 仕事)に対する二重的視線



第四圖 濟州島の潛女

濟州島西歸浦の海女。この島は女の人口が多く海女の活躍が目ざましい。

출처: 『朝鮮民俗誌』, 秋葉隆, 동경: 六三書院, 1954년



2-3. 市場と道具の変化

採取する海産物と道具の変化

区分	1880	1900	1910	1920	1930	1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000	
アワビ	—————→										-----→	-----→	
サザエ	-----→										—————→	—————→	
ワカメ	-----→										—————→	-----→	
テングサ											-----→	—————→	
ひじき											-----→	—————→	-----→
かじめ	—————→												
マメタワラ	—————→										-----→		
道具											双眼	一眼	
											綿衣	潜水機	
												ゴム服/Fin	

時期 <1> <2> <3> <4> <5>

生産量 順位: 1位 —————→ 2位 -----→ 3位 -----→

2-4. ムルジルの資格

ムルジルすることができる資格は技倆だけではなく社会的資格が必要
ムルジルすることができる漁場がなければならぬし、漁場の利用権は定住者だけ。

■ 公式的

漁場を利用することができる権利：漁村契

= 村住民らで構成

= 1970年代中盤以後 村漁場の利用は村の住民たちに

= 下部組織: 漁夫會, 潜嫂会

- ❖ 潜嫂の他地 移動 ムルジルする慣行より 村の漁場で,
----→ 村の漁場の中に潜嫂会による 自然養殖場 (限時的 禁採区域) 運営.
-----→ 村の漁場に対する依存度が高く.

■ 非公式的

村出身の女性, 村出身の男子と婚姻, 自身の家を持っている人.

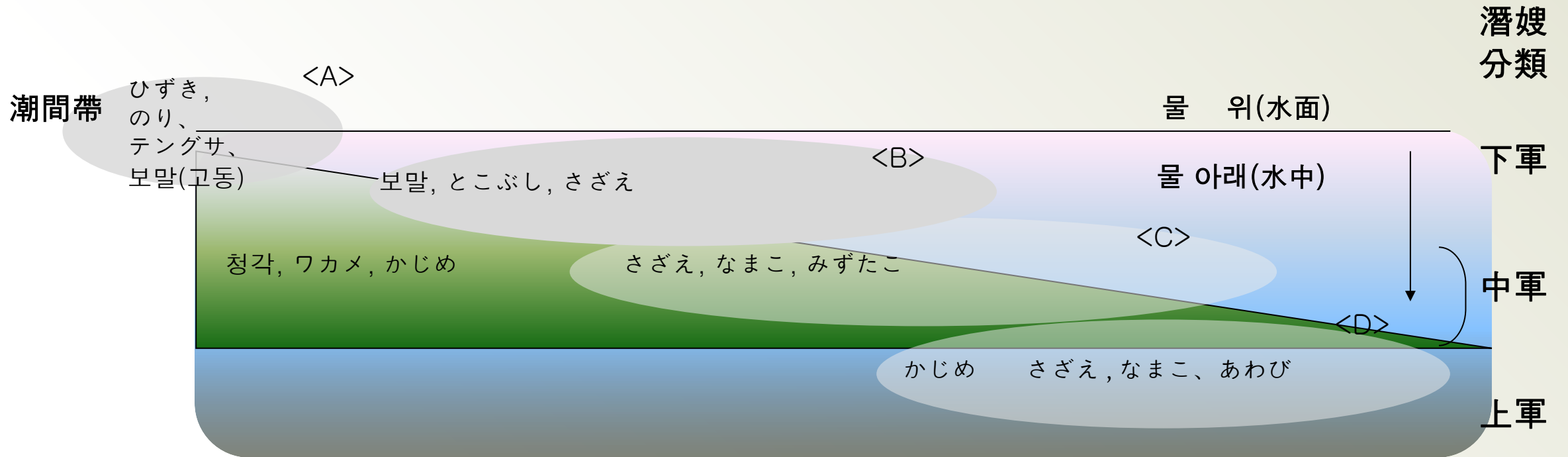
- ❖ 必ず村に定住する人=必ず '根付いた' 人
- ❖ 村を発つことができる人ではなく
- ❖ 村で持続的に生きて行く人,
-----→ 村の資源を持続的に利用できる.

***** 生活の永続性と資源の持続的利用を念頭に置いている観念.

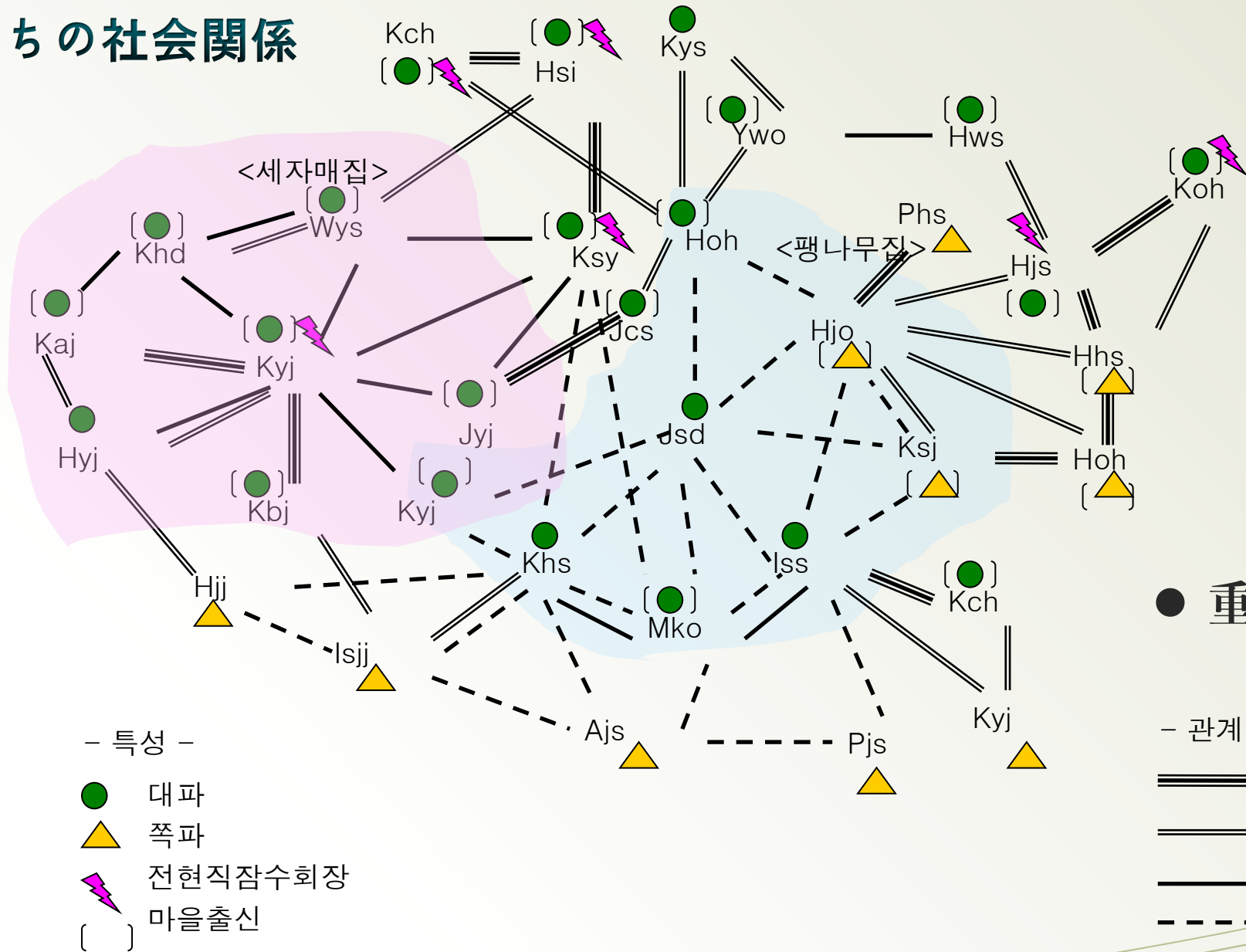
2-5. ムルジルの生態的特徴

水深による資源の分布と採取技術

< 海洋資源の分布と潜嫂分類 >



2-6 . 潛女たちの社会関係



● 重層的社會關係

- 특성 -
- 대파
 - ▲ 쪽파
 - ⚡ 전현직잠수회장
 - [] 마을출신

- 관계 -
- === 자매, 친모
 - == 친척
 - 친구, 선후배
 - - - 친목모임

● 互恵的交換と分配

- 労働力の交換と親睦
- 労働の小共同体
- 飲食の分配と均衡的互恵性: 祭祀と豚祭



● 潜嫂会/海女会のクツ(シャーマニズム儀礼, 大漁)

- ：先祖-子孫の神話的社会関係
- ：毎年旧暦 3月 8日, 潜嫂会の共同祭祀
- ：海神に対する食べ物供養, 漁撈安全, 豊饒 祈願
- ：来訪客 = 村の顔役, 政治家, 公務員たち,
- ：主要儀礼過程 = 先祖神迎え, 食べ物供養(水中世界の再現),
種を蒔き(種まき), シゾム,
遊興(カラオケとダンス), 潜嫂会 決算
- ：儀礼の象徴: 先祖(“ヨワングハルマン” 龍王祖母)と子孫(潜嫂)
 - = 海は 先祖が暮す世界
 - = 漁場に対する子孫の権利を象徴



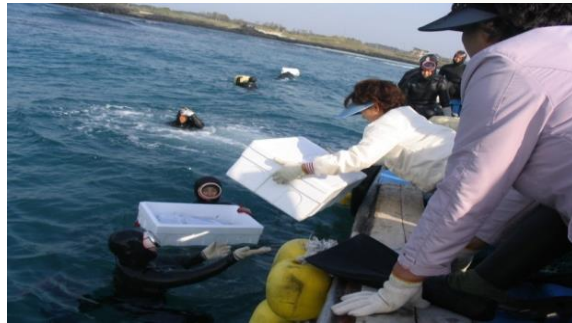
2008.4.13, 濟州道 東金寧里

● 互恵的交換と分配システムの発達、自然と人間の関係のモデル

a. 神との関係



b. 海洋生物(資源)との関係



c. 人(社会)との関係



ありがとうございます! (고맙습니다!)